

2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
健康科学特殊研究B	1年次秋学期 (2セメスター)	講義 ※演習含む	2	渡邊 丈眞、光山 浩人 倉持 梨恵子
授業概要				
<p>一般的なスポーツ健康科学についての研究における、対象を観察する視点を幅広く習得し、有能な研究者になるために必要なさまざまな概念を用いながら、講義・演習をおこなう。少人数を対象とした、複数の教員による形式なので、多面的なミクロの視点、マクロの視点など研究に有効な方法論を修得する。</p>				
授業目標(到達目標)				
<p>健康やスポーツに関する研究対象を、ミクロの視点(生物学、生理学的な視点)、マクロの視点(疫学的視点)で分析し、仮説を立て、それに対する合理的な妥当性のある研究の方法論を提示できること。</p>				
成績評価方法・基準				
<p>授業内のテーマに関する討議の発言内容とセメスター内の授業で作成したレポート内容の講義理解度を採点対象とする。</p>				
教科書・教材・参考文献 等				
<p>特になし</p>				
授業計画				
	項目・内容	担当		
1	スポーツ傷害の外科的治療:実際の症例を提示し、外科的治療の原理を解説。	光山		
2	スポーツ傷害の管理:アスリートに対してコンディショニングをどのように管理するかを解説	光山		
3	加齢による疾病(内科分野):動脈効果、糖尿病などについて解説	光山		
4	アスリートのパフォーマンス評価法1:上肢の機能解剖と評価法	倉持		
5	アスリートのパフォーマンス評価法2:下肢の機能解剖と評価法	倉持		
6	アスリートのパフォーマンス評価法3:体幹の機能解剖と評価法	倉持		
7	研究における介入の実際:どのように介入の実施を担保するかについて解説	倉持		
8	Functional Movement Screen:評価法の解説と演習	倉持		
9	Dynamic Neuromuscular Stabilization:概念の説明と演習	倉持		
10	研究デザイン:研究デザインの考え方, Structured Abstractsなどを解説	渡邊		
11	健康形成論:健康指標、健康生態学モデルなどについて解説	渡邊		
12	エビデンスの質:meta-analysis, systematic review, RCTなどについて解説	渡邊		
13	統計学的分析:目的による統計学的分析の適用の実際	渡邊		
14	これからの健康科学のあり方:新しい研究手法などの方向性について紹介	渡邊		
15	研究デザインの評価:受講者の作成した研究デザイン(シミュレーション)について討議	渡邊		
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
<p>「健康科学特殊研究A」を合わせて履修することが望ましい。</p>				